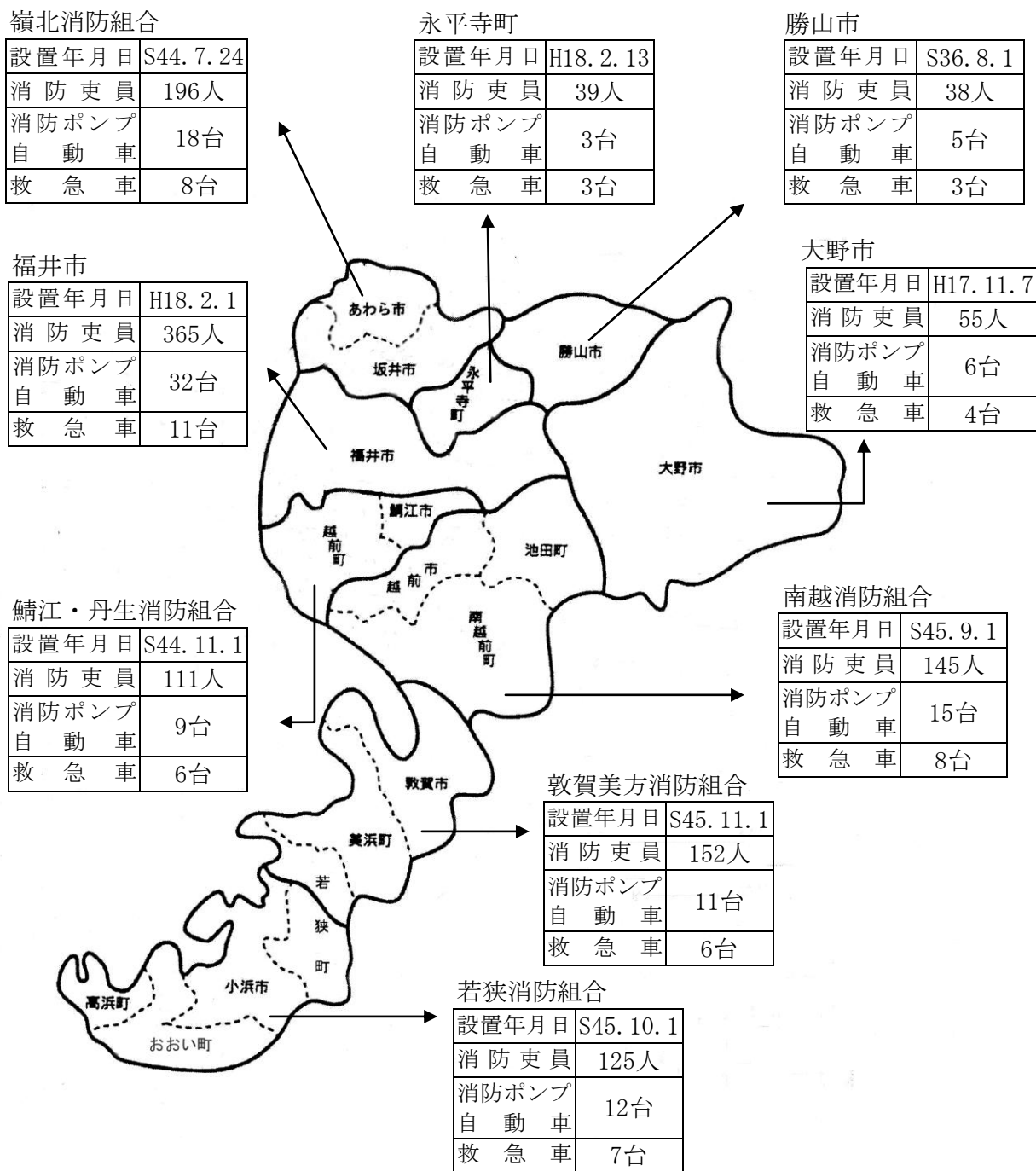


# 消 防 編

# 第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制(平成29年4月1日現在)



※台数については、消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」H28. 10. 1現在）		4,190.49	km <sup>2</sup>
平成27年国勢調査（確定値）人口		786,740	人
推計人口（平成28年4月1日現在）		783,023	人
推計世帯数（平成28年4月1日現在）		280,075	世帯
65才以上高齢者数（福井県の推計人口 平成28年4月1日現在）		224,401	人
高齢化率（ " "）		28.7	%
地域別人口	福井坂井地区（平成27年国勢調査 確定値）		404,796 人
	奥越地区		57,234 人
	丹南地区		184,783 人
	嶺南地区		139,927 人
28年火災状況	火災件数		196 件
	うち	建物火災件数	127 件
		林野火災件数	1 件
	建物焼損面積		7,422 m <sup>2</sup>
	林野焼損面積		7 a
	損害額		412,033 千円
	うち	建物火災	404,224 千円
		死者（自殺者数内数）	
負傷者		31 人	
出火率（人口1万人に対する出火件数） ※人口：平成28年3月31日現在		2.46	件
28年救急状況	救急出場件数		28,511 件
	うち	急病	17,268 件
		交通事故	2,718 件
		一般負傷	4,221 件
搬送人員		27,330 人	
消防本部・署所	消防本部	単独設置市	3
		単独設置町	1
		消防一部事務組合	5
	消防署数		19
	出張所数		28
	消防職員	消防吏員	1,226 人
その他の職員		29 人	
合計		1,255 人	
消防団	消防団数		18
	分団数		234
	消防団員	非常勤団員数	5,809 人
		常勤団員数	—
		合計	5,809 人

消 防 車 両 等	区 分		消防本部・署所	消 防 団	
	普通消防ポンプ自動車			56 台	136 台
水槽付消防ポンプ自動車			22 台	—	
はしご付消防ポンプ自動車			13 台	—	
屈折はしご付消防ポンプ自動車			1 台	—	
大型高所放水車			2 台	—	
泡原液搬送車			2 台	—	
化学消防自動車			17 台	—	
指揮車			20 台	—	
小型動力ポンプ付積載車			—	208 台	
小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)			29 台	109 台	
広報車			30 台	—	
資機材搬送車			26 台	—	
屈折放水塔車			0 台	—	
救急自動車			56 台	—	
救助工作車			15 台	—	
その他の車両			19 台	—	
消 防 水 利	消火栓	公 設		18,243 個	
		私 設		98 個	
	防火水槽	100m <sup>3</sup> 以上		138 基	
		60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満		138 基	
		40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満		4,797 基	
		20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満		487 基	
	井戸	公 設		79 個	
		私 設		—	
そ の 他				581 個	
通 信 施 設 等	消防用無線		基地局および固定局		67 局
			移動局		955 局
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局	28 局
				同報受信設備	28,037 局
			移動無線	基地局	24 局
		移動局		920 局	
		県	固定系	地上系	29 局
				衛星系	71 局
	移動系		基地局等	19 局	
			移動局等	221 局	
	テレビ監視装置				2 基
	火災報知専用電話				118 回線
消防電話				125 回線	

## 第2章 火災の実態

### 1 概 況

平成28年中の火災発生件数は196件、死者6人、負傷者31人、損害額4億1203万円、焼損棟数176棟、り災世帯数91世帯、り災人員255人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日113万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成19年中が最も多く、平成27年中が最も少ない。

### 2 出火件数および損害額の状況

#### (1) 出火件数

総出火件数は196件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が127件で全体の64.8%を占め、林野火災1件(0.5%)、車両火災24件(12.2%)、その他火災44件(22.4%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が50件(39.4%)で最も多く、次いで工場18件(14.2%)、共同住宅6件(4.7%)、倉庫6件(4.7%)、複合用途(特定)6件(4.7%)、併用住宅5件(3.9%)、飲食店5件(3.9%)、その他31件(24.4%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、12月の発生件数が24件で最も多く、11月が11件と最も少ない。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

#### (2) 損害額

損害額は、4億1,203万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が4億422万円で全体の98.1%を占め、次いで車両火災626万円(1.52%)となっている。火災1件当たりの損害額は約210万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、2月の損害額が約7,957万円で最も多く、6月が約326万円で最も少ない。

### 3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因ではたばこが最も多く19件で9.7%を占め、次いで、こんろ15件(7.7%)、ストーブ14件(7.1%)、たき火11件(5.6%)、電灯電話等の配線10件(5.1%)などとなっている。

#### 4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、一酸化炭素中毒が2人、火傷が1人、自殺が3人となっている。

また、平成28年中の死者に占める高齢者は4人で全体の約67%となった。

第1表 1日当たりの損害状況

区 分	単位	平成28年 (A)	平成27年 (B)	対前年増加数 (A) - (B)
出 火 件 数	件	0. 54	0. 51	0. 03
損 害 額	万円	113	137	△24
焼 損 棟 数	棟	0. 48	0. 44	0. 04
り 災 世 帯 数	世帯	0. 25	0. 22	0. 03
り 災 人 員	人	0. 70	0. 55	0. 15

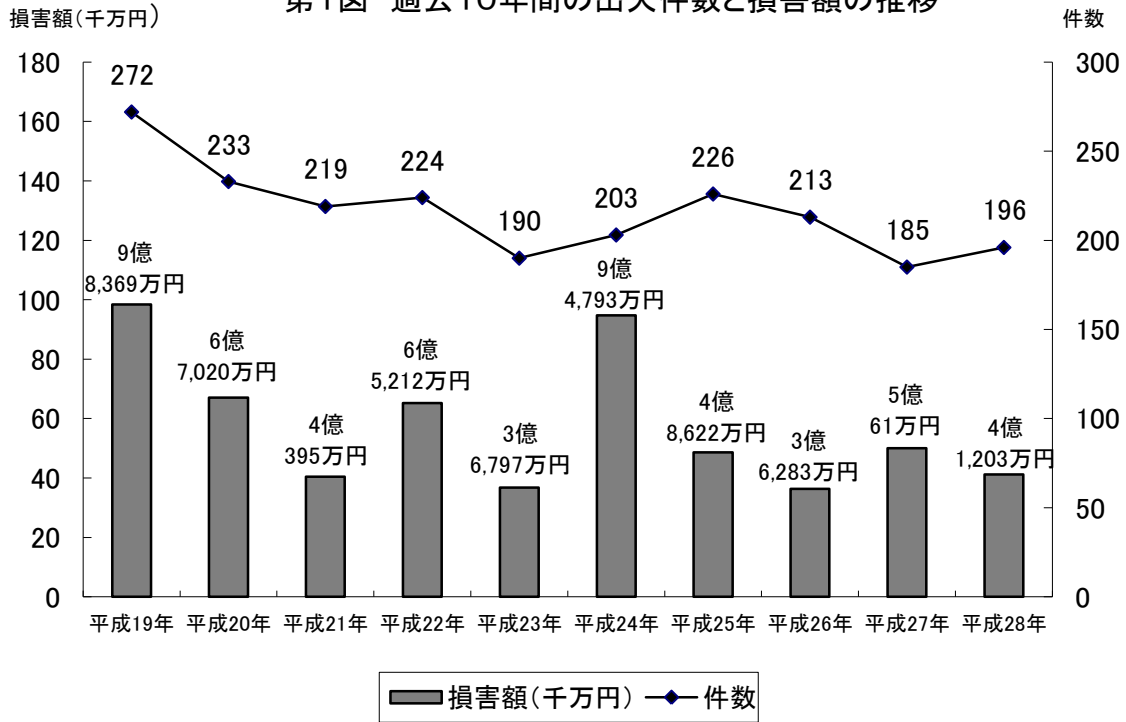
第2表 平成28年火災発生状況と前年比較表

区 分	平成28年(A)	平成27年(B)	対前年増加数 (A) - (B) = (C)
総 出 火 件 数	196	185	11
建 物	127	106	21
林 野	1	3	△ 2
車 両	24	31	△ 7
船 舶	0	1	△ 1
そ の 他	44	44	0
焼 損 棟 数 ( 棟 )	176	162	14
全 焼	45	35	10
半 焼	12	8	4
部 分 焼	47	57	△ 10
ぼ や	72	62	10
り 災 世 帯 数 ( 世 帯 )	91	82	9
全 損	23	24	△ 1
半 損	8	5	3
小 損	60	53	7
り 災 人 員 ( 人 )	255	201	54
建 物 焼 損 面 積 ( m <sup>2</sup> )	7,422	9,345	△ 1,923
林 野 焼 損 面 積 ( a )	7	13	△ 6
損 害 額 合 計 ( 千 円 )	412,033	500,611	△ 88,578
建 物	404,224	485,363	△ 81,139
林 野	0	56	△ 56
車 両	6,263	7,963	△ 1,700
船 舶	0	4	△ 4
そ の 他	1,546	7,225	△ 5,679
爆 発	0	0	0
死 者 ( 人 )	6	9	△ 3
( ) は 放 火 自 殺 者 内 数	(3)	(2)	(1)
建 物	4 (1)	5	△ 1 (1)
林 野	0	0	0
車 両	0	3 (1)	△ 3 (△ 1)
船 舶	0	0	0
そ の 他	2 (2)	1 (1)	1 (1)
負 傷 者 ( 人 )	31	22	9
建 物	27	21	6
林 野	0	0	0
車 両	2	0	2
船 舶	0	0	0
そ の 他	2	1	1
出 火 率 (人口1万人に対する出火件数)	2.46	2.31	

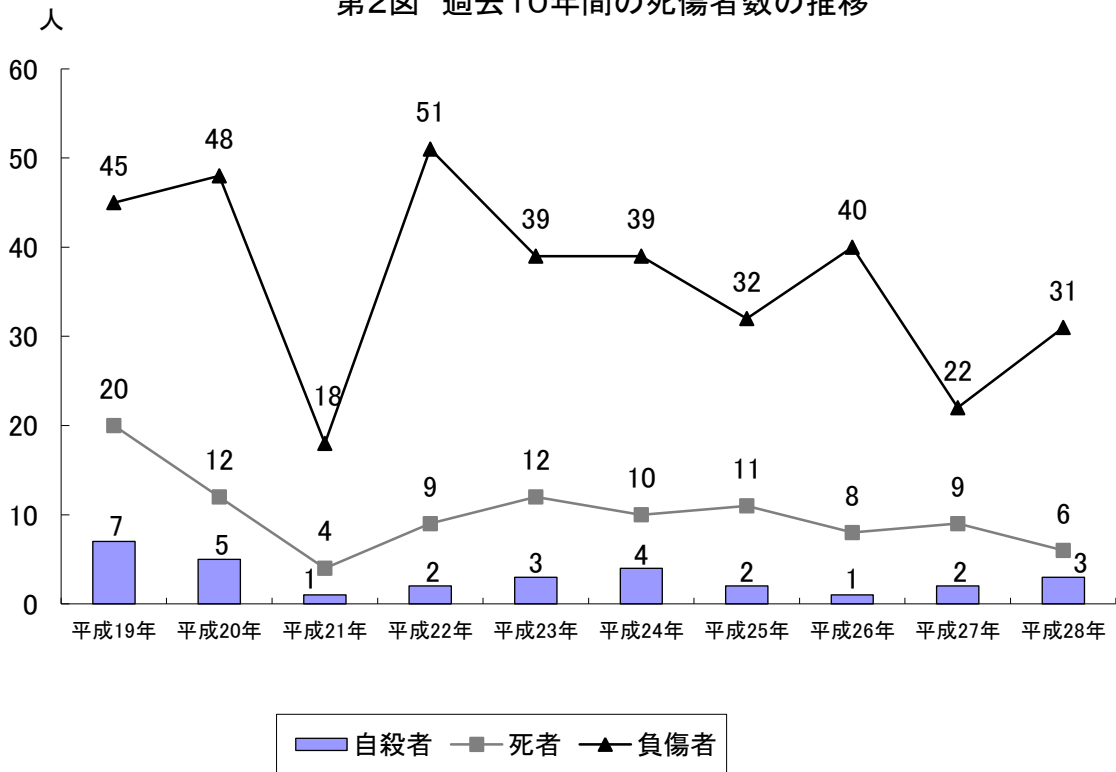
平成28年人口：平成28年3月31日現在の住民基本台帳人口による。

平成27年人口：平成27年3月31日現在の住民基本台帳人口による。

第1図 過去10年間の出火件数と損害額の推移

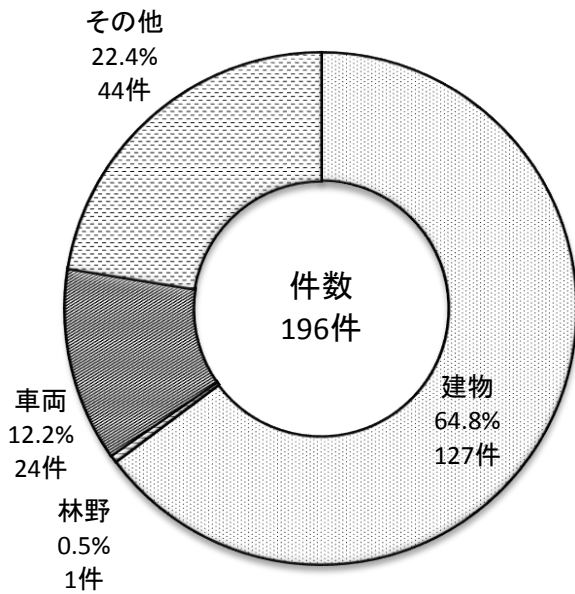


第2図 過去10年間の死傷者数の推移



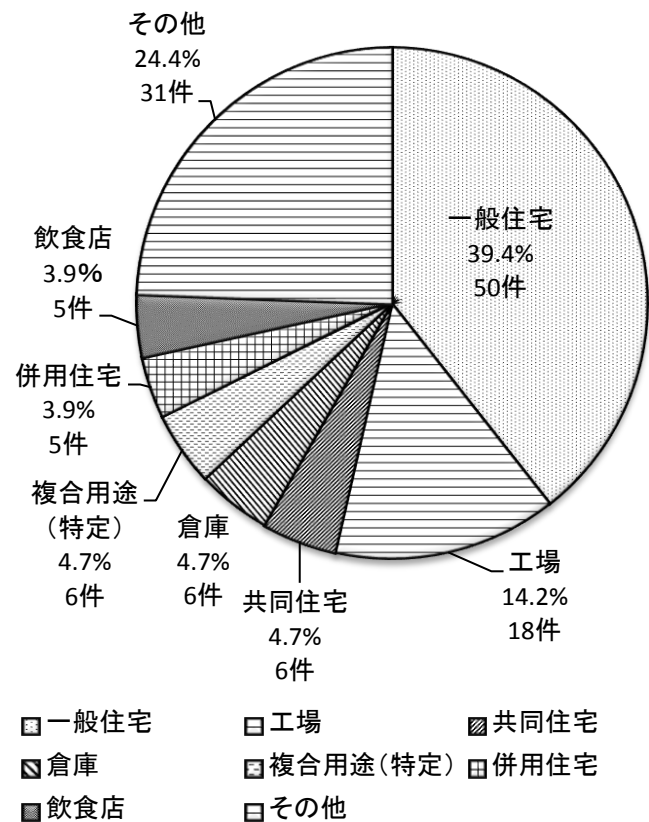


第3図 火災発生件数の内訳



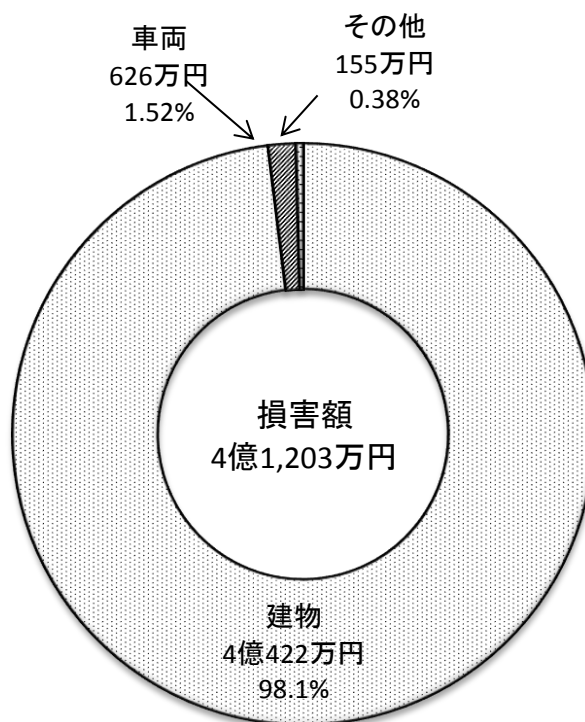
■建物 □林野 ■車両 ■船舶 □その他

第4図 うち建物火災件数の内訳



■一般住宅 □工場 ■共同住宅  
■倉庫 □複合用途(特定) □併用住宅  
■飲食店 □その他

第5図 損害額の内訳



■建物 □林野 ■車両 ■船舶 □その他

第3表 平成28年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)						焼損棟数(棟)				焼損面積		り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	死(人) 内は放火自殺者(人)	負傷者(人)	損害額(千円)									
	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼ	建物	林野	合計	全	半				小	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆		
1	18	15	0	2	0	1	22	6	1	6	9	982	0	17	5	2	10	45	2	1	5	71,135	69,409	0	1,723	0	3	0
2	16	13	0	1	0	2	19	7	1	6	5	862	0	10	5	0	5	27	1	0	2	79,572	78,878	0	694	0	0	0
3	18	8	0	3	0	7	13	4	1	5	3	940	5	4	2	0	2	7	1	0	3	29,031	27,705	0	635	0	691	0
4	15	10	0	2	0	3	10	1	0	4	5	237	0	10	0	0	10	22	0	0	2	8,158	8,053	0	95	0	10	0
5	18	14	1	1	0	2	14	1	1	6	6	684	2	4	0	0	4	12	0	0	1	57,395	56,993	0	303	0	99	0
6	14	6	0	1	0	7	12	5	1	4	2	216	0	2	0	1	1	3	0	0	0	3,256	2,746	0	461	0	49	0
7	15	7	0	3	0	5	8	1	1	5	5	539	0	3	0	0	3	8	0	0	0	5,813	5,587	0	210	0	16	0
8	19	9	0	3	0	7	16	7	1	2	6	821	0	4	1	1	2	17	0	0	3	14,810	13,449	0	1,066	0	295	0
9	13	6	0	4	0	3	6	1	0	0	5	190	0	3	1	0	2	9	0	0	1	9,159	8,435	0	605	0	119	0
10	15	10	0	1	0	4	17	5	1	3	8	1,032	0	11	4	1	6	46	0	0	2	69,919	69,513	0	172	0	234	0
11	11	9	0	2	0	0	13	2	1	3	7	177	0	6	1	0	5	14	0	0	3	21,831	21,575	0	231	0	25	0
12	24	20	0	1	0	3	26	5	3	7	11	742	0	17	4	3	10	45	2	2	9	41,954	41,881	0	68	0	5	0
計	196	127	1	24	0	44	176	45	12	47	72	7,422	7	91	23	8	60	255	6	3	31	412,033	404,224	0	6,263	0	1,546	0

第4表 市町別火災状況

区分	出火件数(件)							焼損棟数(棟)					り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損		小損
福井市	53	33	0	9	0	0	11	40	7	0	13	20	26	4	0	22	61
敦賀市	17	15	0	1	0	0	1	25	8	2	5	10	17	6	0	11	54
小浜市	9	4	0	2	0	0	3	9	4	0	2	3	2	0	0	2	3
大野市	4	4	0	0	0	0	0	5	2	1	1	1	1	1	0	0	1
勝山市	8	4	0	1	0	0	3	4	2	0	0	2	2	1	0	1	10
鯖江市	19	13	0	3	0	0	3	18	4	1	9	4	4	2	1	1	9
あわら市	9	4	1	0	0	0	4	4	1	1	1	1	2	0	2	0	8
越前市	18	15	0	2	0	0	1	19	4	1	6	8	12	2	1	9	29
坂井市	13	11	0	0	0	0	2	12	1	2	1	8	6	1	1	4	20
市計	150	103	1	18	0	0	28	136	33	8	38	57	72	17	5	50	195
永平寺町	5	4	0	1	0	0	0	9	5	0	0	4	2	2	0	0	2
池田町	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	4	1	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	1	1	0	0	4
越前町	9	7	0	0	0	0	2	11	3	2	3	3	3	1	1	1	4
美浜町	3	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高浜町	9	5	0	1	0	0	3	11	2	1	3	5	6	1	1	4	26
おおい町	4	2	0	0	0	0	2	3	0	1	1	1	3	0	1	2	9
若狭町 (内訳)	11	5	0	1	0	0	5	5	1	0	2	2	4	1	0	3	15
旧三方町 敦賀美方消防管轄	7	4	0	1	0	0	2	4	1	0	2	1	3	1	0	2	10
旧上中町 若狭消防管轄	4	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	0	0	1	5
町計	46	24	0	6	0	0	16	40	12	4	9	15	19	6	3	10	60
県計	196	127	1	24	0	0	44	176	45	12	47	72	91	23	8	60	255

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

期間:平成28年1月1日～12月31日

死傷者数(人)		焼 損 面 積			損 害 額(千円)						
死 者	負 傷 者	建 物 床 (㎡)	建 物 表 (㎡)	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発
1	7	1,984	8	5	103,889	101,441	0	2,262	0	186	0
2	7	437	4	0	70,421	69,539	0	756	0	126	0
0	0	169	19	0	3,245	2,856	0	379	0	10	0
0	0	191	0	0	2,585	2,585	0	0	0	0	0
0	2	509	2	0	6,987	6,527	0	450	0	10	0
1	3	551	203	0	55,268	54,482	0	779	0	7	0
1	0	102	3	2	11,938	11,841	0	0	0	97	0
1	1	1,059	26	0	25,299	25,007	0	34	0	258	0
0	2	323	2	0	21,898	21,898	0	0	0	0	0
6	22	5,325	267	7	301,530	296,176	0	4,660	0	694	0
0	4	270	3	0	2,209	2,141	0	68	0	0	0
0	0	0	0	0	536	0	0	536	0	0	0
0	1	336	0	0	5,444	5,295	0	3	0	146	0
0	0	931	24	0	78,624	78,624	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	130	0	0	130	0	0	0
0	3	445	7	0	9,669	8,838	0	831	0	0	0
0	1	41	2	0	7,065	7,065	0	0	0	0	0
0	0	74	0	0	6,826	6,085	0	35	0	706	0
0	0	74	0	0	6,126	6,076	0	35	0	15	0
0	0	0	0	0	700	9	0	0	0	691	0
0	9	2,097	36	0	110,503	108,048	0	1,603	0	852	0
6	31	7,422	303	7	412,033	404,224	0	6,263	0	1,546	0

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

区 分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
福井市	53	103,889	8	17,544	3	28,497	7	23,080	6	7,933	2	1,980	4	289
敦賀市	17	70,421	3	13,665	2	25,922	0	0	0	0	2	320	1	0
小浜市	9	3,245	0	0	1	0	0	0	2	84	0	0	0	0
大野市	4	2,585	0	0	0	0	1	60	0	0	1	9	1	925
勝山市	8	6,987	1	3,550	0	0	0	0	0	0	2	3	2	450
鯖江市	19	55,268	1	11,984	4	22,431	2	1,326	1	60	2	32	3	329
あわら市	9	11,938	2	10,104	0	0	1	0	2	2	3	1,832	1	0
越前市	18	25,299	3	14,288	0	0	2	3,879	1	43	1	3	0	0
坂井市	13	21,898	0	0	1	66	1	0	1	1	2	1,758	0	0
市 計	150	301,530	18	71,135	11	76,916	14	28,345	13	8,123	15	5,937	12	1,993
永平寺町	5	2,209	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
池田町	1	536	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	4	5,444	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
越前町	9	78,624	0	0	0	0	0	0	1	0	1	51,449	2	1,263
美浜町	3	130	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
高浜町	9	9,669	0	0	3	2,580	0	0	0	0	0	0	0	0
おおい町	4	7,065	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
若狭町 (内訳)	11	6,826	0	0	2	76	2	686	1	35	2	9	0	0
旧三方町 <small>敦賀美方消防管轄</small>	7	6,126	0	0	1	67	1	0	1	35	1	4	0	0
旧上中町 <small>若狭消防管轄</small>	4	700	0	0	1	9	1	686	0	0	1	5	0	0
町 計	46	110,503	0	0	5	2,656	4	686	2	35	3	51,458	2	1,263
県 計	196	412,033	18	71,135	16	79,572	18	29,031	15	8,158	18	57,395	14	3,256

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

出火率(人口1万人に対する出火件数)は、平成28年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

期間:平成28年1月1日～12月31日

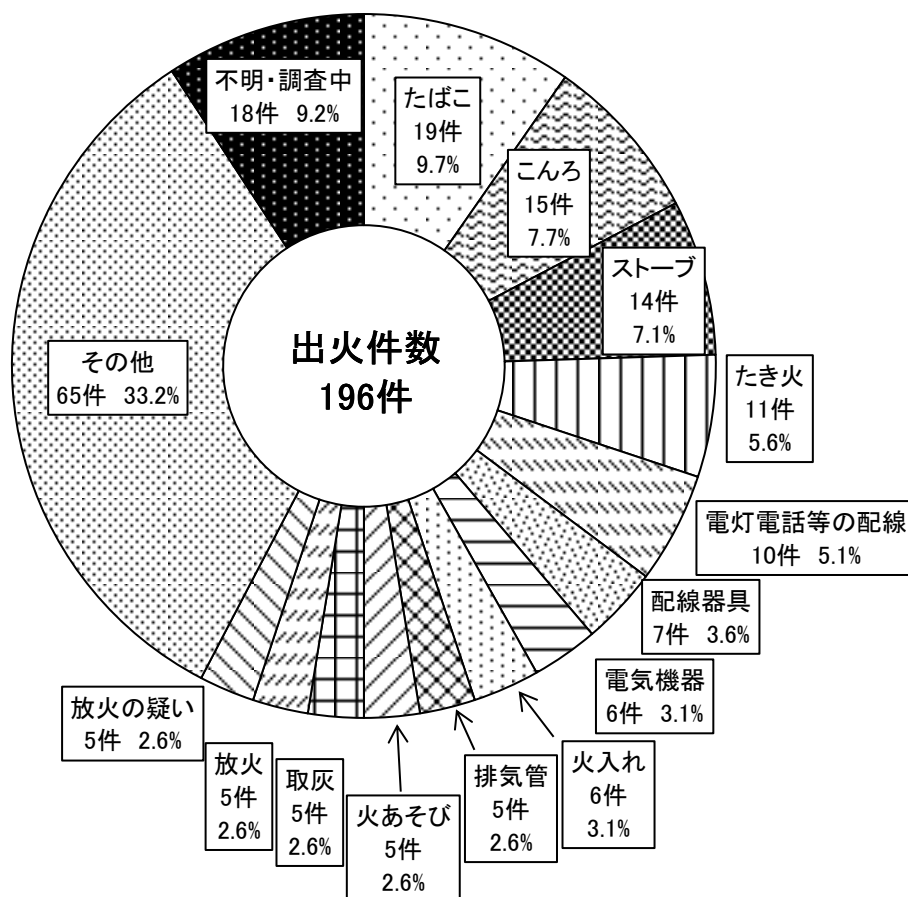
7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)
件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	
3	7	4	399	3	155	4	20,428	4	965	5	2,612	2.00
3	643	0	0	1	8	1	16,349	2	13,388	2	126	2.54
1	74	2	2,194	0	0	0	0	2	875	1	18	2.98
0	0	1	1,591	0	0	0	0	0	0	0	0	1.16
0	0	1	2,870	1	10	1	104	0	0	0	0	3.28
0	0	1	14	1	8,251	0	0	1	6,500	3	4,341	2.75
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.11
1	4,286	2	259	2	22	3	2,436	1	73	2	10	2.16
3	658	0	0	0	0	1	3	1	30	3	19,382	1.40
11	5,668	11	7,327	8	8,446	10	39,320	11	21,831	16	26,489	2.16
0	0	1	26	0	0	0	0	0	0	4	2,183	2.62
0	0	0	0	1	536	0	0	0	0	0	0	3.61
0	0	1	37	2	112	1	5,295	0	0	0	0	3.60
0	0	2	341	1	0	1	25,294	0	0	1	277	3.99
2	130	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.02
1	0	3	7,079	0	0	2	10	0	0	0	0	8.42
0	0	0	0	1	65	1	0	0	0	1	7,000	4.73
1	15	1	0	0	0	0	0	0	0	2	6,005	7.05
1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6,005	
0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4	145	8	7,483	5	713	5	30,599	0	0	8	15,465	4.59
15	5,813	19	14,810	13	9,159	15	69,919	11	21,831	24	41,954	2.46

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:平成28年1月1日～12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(㎡)	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
たばこ	19	408	18	10	35,041
こんろ	15	842	18	16	51,763
ストーブ	14	1,545	21	16	43,925
たき火	11	190	3	0	3,685
電灯電話等の配線	10	1,277	10	7	90,578
配線器具	7	662	8	6	17,102
電気機器	6	0	4	0	3,048
火入れ	6	12	1	0	89
排気管	5	0	0	0	921
火あそび	5	4	4	2	635
取灰	5	660	8	3	15,159
放火	5	185	8	5	19,241
放火の疑い	5	0	2	0	28
その他	65	501	48	14	78,227
不明・調査中	18	1,136	23	12	52,591
合計	196	7,422	176	91	412,033

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

死因 火災種別	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災	2	1	0	1	0	0	4
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 火 災	0	0	0	2	0	0	2
合 計 ( 人 )	2	1	0	3	0	0	6

第8表 死者の経過別・年齢別発生状況表

経過別 年齢別(歳)	0～ 5	6～ 10	11 ～ 20	21 ～ 30	31 ～ 40	41 ～ 50	51 ～ 60	61 ～ 64	65 ～ 70	71 ～ 80	81～	不明	合計 (人)
泥酔によりほとんど避 難できず									1				1
延焼拡大が早く逃げ 切れず										1			1
放火自殺							2			1			3
不明・調査中										1			1
合計(人)	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3	0	0	6



## 第3章 救急業務の実態

### 1 救急体制

災害により生じた事故もしくは屋外および公衆の出入りする場所、または屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、平成29年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車56台(うち高規格救急自動車55台)、救急隊員559(うち救急救命士228名)で救急業務にあたっている。

### 2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、平成29年4月1日現在、第2表のとおり53施設である。

### 3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は28,511件、搬送人員は27,330人となっている。県内1日あたりの出場件数は約78件となり、約18分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図であり、出場件数、搬送人員ともにほぼ毎年増加している。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が17,268件で、全体の60.6%を占め、次いで一般負傷4,221件(14.8%)、交通事故2,718件(9.5%)などとなっている。搬送人員では急病が16,270人で全体の59.5%を占め、次いで一般負傷4,052人(14.8%)、交通事故3,091人(11.3%)などとなっている。

第1表 救急体制状況表

平成29年4月1日現在

救急体制 消防(局)本部名	救急自動車			救急隊員					
	高規格 救急車	通常型	合計	専任		兼任		合計	
				救急救命士		救急救命士		救急救命士	
福井市	11	0	11	54	35	27	9	81	44
大野市	4	0	4			46	18	46	18
勝山市	3	0	3			26	8	26	8
永平寺町	3	0	3			30	8	30	8
嶺北消防組合	8	0	8			84	33	84	33
鯖江・丹生消防組合	6	0	6			106	36	106	36
南越消防組合	7	1	8			72	23	72	23
敦賀美方消防組合	6	0	6	30	25	14	7	44	32
若狭消防組合	7	0	7	8	6	62	20	70	26
合計	55	1	56	92	66	467	162	559	228

第2表 医療機関状況表

平成29年4月1日現在

告示別	種別	国・公立	公的	私的		合計
				病院	診療所	
救急告示医療機関		7	5	26	15	53
その他の医療機関		17	7	28	444	496
合計		24	12	54	459	549

第3表 救急活動状況

(平成28年中)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損傷	急病	その他
救急出場件数	28,511	107	6	40	2,718	256	229	4,221	79	229	17,268	3,358
搬送人員	27,330	29	5	24	3,091	250	238	4,052	68	141	16,270	3,162

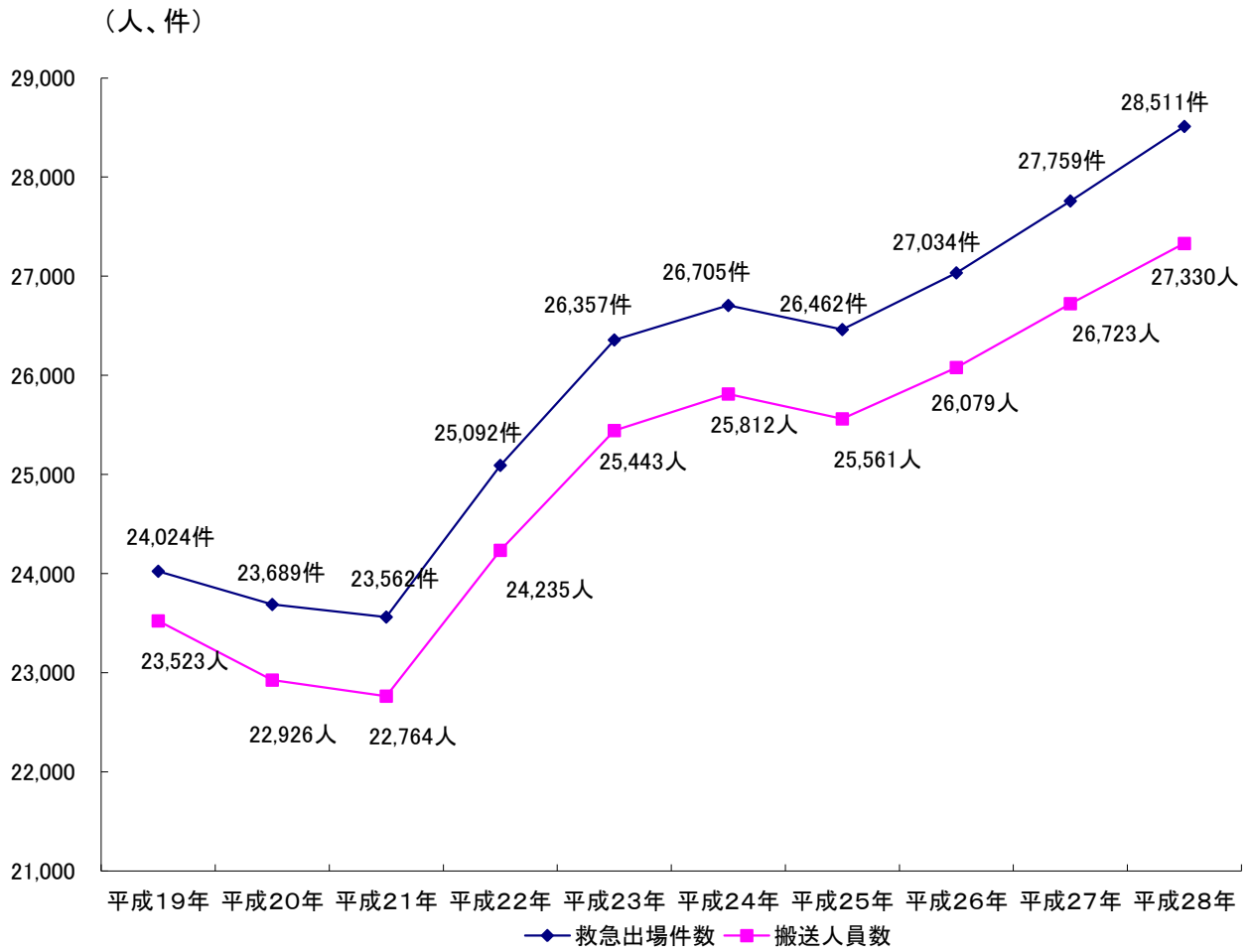
第4表 高速自動車道における救急活動状況表

(平成28年中)

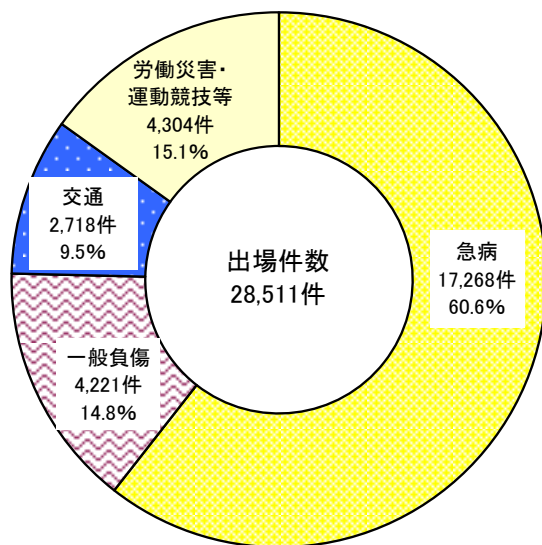
高速道路名	北陸自動車道									小計
担当消防本部名	嶺北消防組合 消防本部		福井市 消防局		鯖江・丹生消防 組合消防本部		南越消防組合 消防本部		敦賀美方消防 組合消防本部	
IC名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀		
救急出動数	8	7	6	3	8	10	29	15		86
搬送人員	9	7	8	4	9	11	29	13		90

高速道路名	舞鶴若狭自動車道								小計	計
担当消防本部名	敦賀美方消防組合 消防本部			若狭消防組合 消防本部						
IC名	若狭美浜	若狭三方	若狭上中	大飯高浜	小浜西	小浜	若狭上中			
救急出動数	2	4	0	2	4	1	0	13	99	
搬送人員	2	4	0	2	4	1	0	13	103	

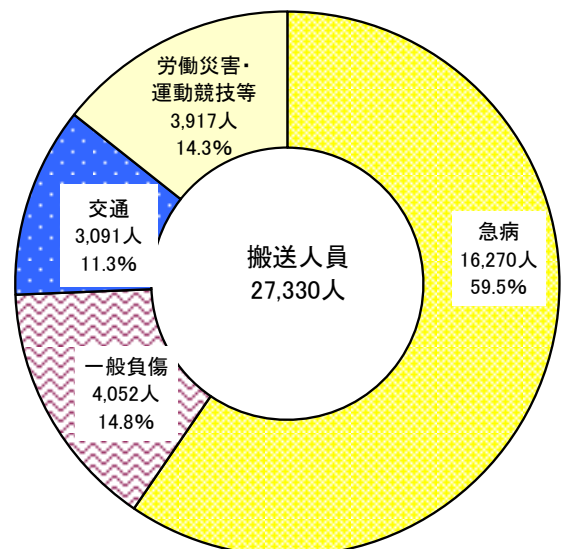
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



## 第4章 予防行政の概況

### 1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による平成28年4月1日から平成29年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分			点検を要する 防火対象物数		点検報告済 防火対象物数		特例認定済 防火対象物数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	35		13		10	
	ロ	公会堂または集会場	226		103		64	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	60		33		4	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	3		3			
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	10	1	3		
	ロ	飲食店	9	47	4	12		
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	182	20	119	6	16	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	40	82	20	25	10	30
6	イ	病院、診療所または助産所	35	6	19	1	13	2
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	6	3	1	3	4	
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	1	3		3	1	
	ニ	幼稚園または特別支援学校	1		1			
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	3		1		1	
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	205	47	96	12	37	3
16の2		地下街						
合計			807	218	414	65	160	36

#### 【備考】

- 点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- 特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物。「防火優良認定証」を表示することができる。
- 第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- 第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
  - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
  - 階段が2以上設けられていないもの
- 調査基準日…平成29年3月31日
- 調査期間……平成28年4月1日～平成29年3月31日

## 2 消防設備士試験・講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて797人の受験者に対して354人が合格し、合格率は44.4%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は572人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

### 第2表 消防設備士試験実施状況表

試験日：平成28年8月28日（日）

平成29年2月12日（日）

区 分	平成28年度								免状交付延べ数	
	受験者数（人）		合格人数（人）		合格率（%）		免状交付数			
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
特 類	9		1		11.1%		0		18	
第 1 類	93	25	28	6	30.1%	24.0%	30	4	1,221	321
第 2 類	33	10	10	5	30.3%	50.0%	9	4	344	96
第 3 類	27	8	11	3	40.7%	37.5%	10	3	259	63
第 4 類	190	79	70	44	36.8%	55.7%	71	45	2,731	1,081
第 5 類	37	13	18	8	48.6%	61.5%	20	8	300	114
第 6 類		150		70		46.7%		74		2,088
第 7 類		123		80		65.0%		90		3,122
計	389	408	138	216	35.5%	52.9%	140	228	4,873	6,885

### 第3表 消防設備士法定講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数（人）	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類,第2類,第3類 消防設備士	112	平成28年8月30日（火）
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類,(乙)第6類 消防設備士	149	平成28年8月31日（水）
警 報 設 備	(甲・乙)第4類,(乙)第7類 消防設備士	311	平成28年9月1日（木） 平成28年9月2日（金）
合 計		572	

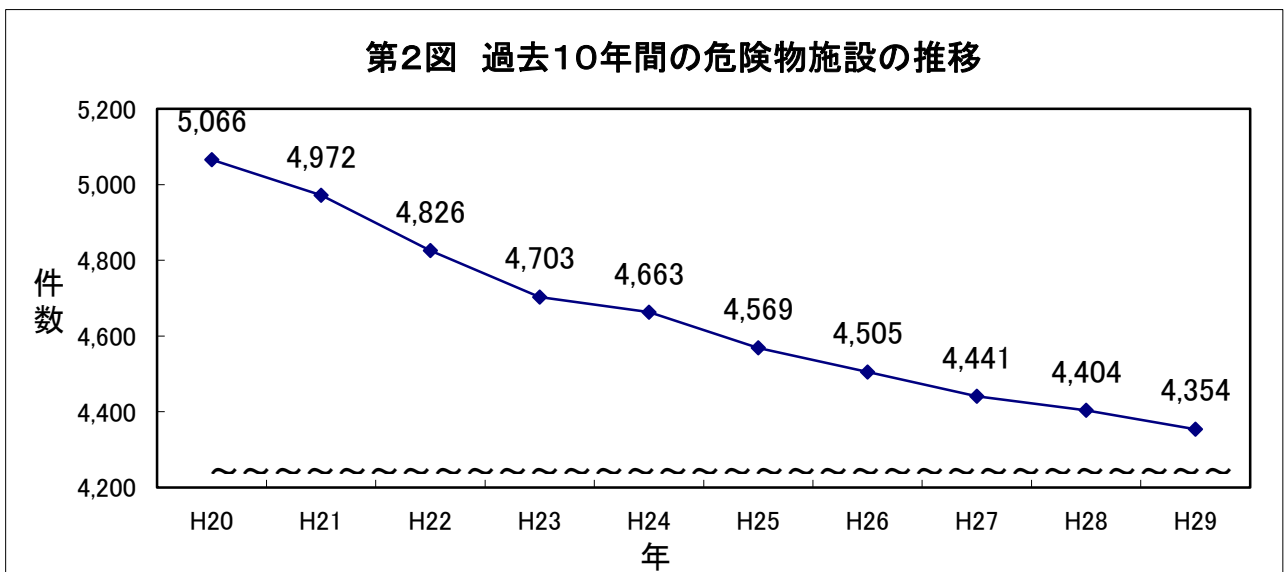
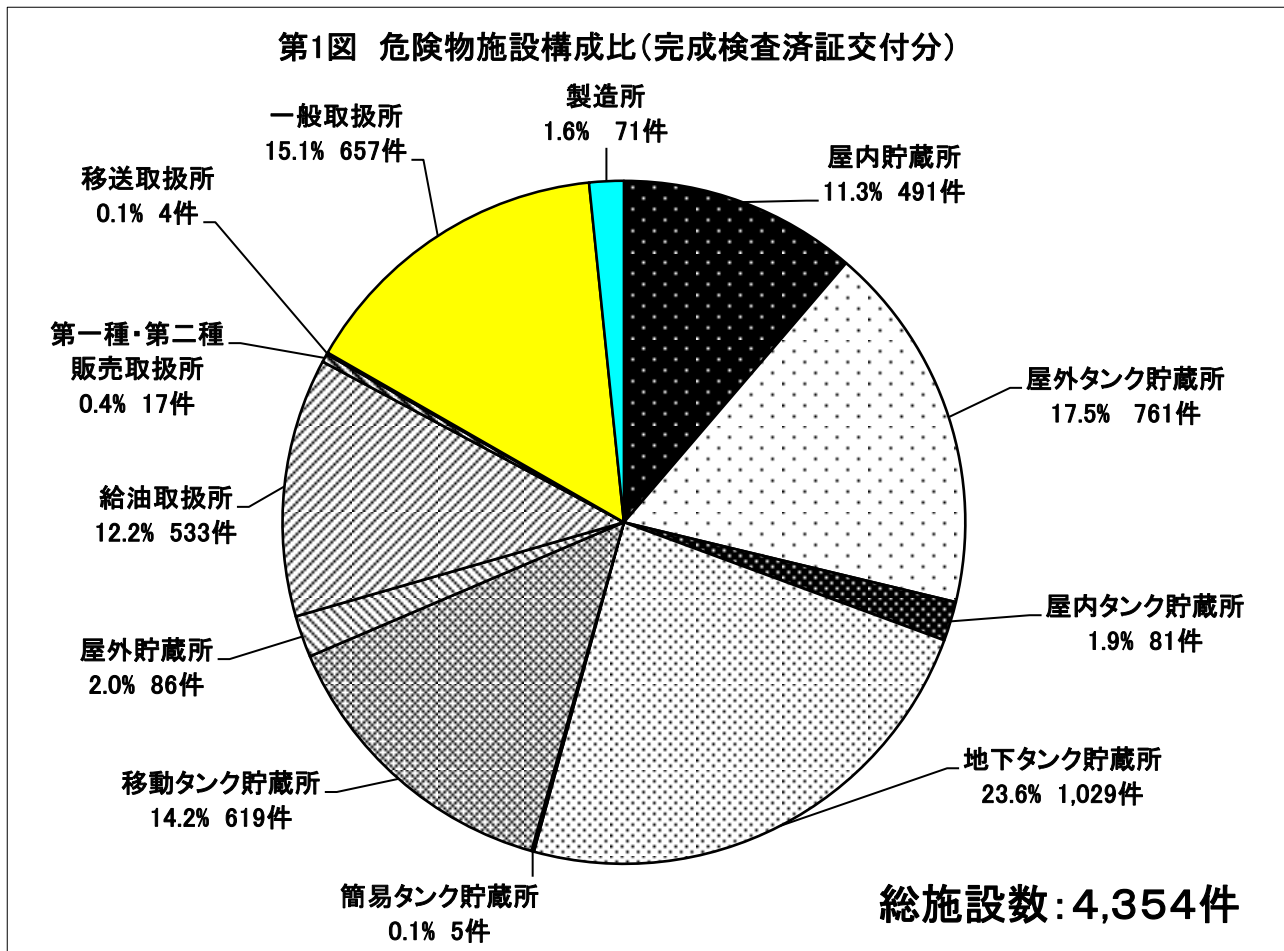
## 第5章 危険物規制

### 1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合が行なっている。

なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(平成29年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し50件減少している。



第1表 施設別危険物施設数

平成29年3月31日現在

危険物施設の別 消防(局)本部名	製 造 所 (A)	貯 蔵 所										取 扱 所					合 計 (A + B + C)	事 業 所	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所			小 計 (C)
福 井 市	21	113	190	5	20	28	272	1	178	19	801	136	8	1	1	138	284	1,106	549
大 野 市		8	17				55		32		112	24				27	51	163	94
勝 山 市	2	6	31			1	48		20	3	109	17				20	37	148	84
永 平 寺 町		8	5			2	21		16		52	7				11	18	70	42
嶺北消防組合	26	99	175	4	36	11	186	1	122	22	616	92			2	176	270	912	333
鯖江・丹生消防組合	5	62	74			6	118		43	9	312	47	3	4		55	109	426	289
南越消防組合	13	74	110			10	122	2	75	16	409	67				75	142	564	259
敦賀美方消防組合	1	70	108	7	8	13	130		76	14	411	92			1	96	189	601	227
若狭消防組合	3	51	51			10	77	1	57	3	250	51	1			59	111	364	157
合 計	71	491	761	16	64	81	1,029	5	619	86	3,072	533	12	5	4	657	1,211	4,354	2,034

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
- 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）。
- 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キロリットル以上千キロリットル未満のものを記載（以下の表においても同様）。
- 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キロリットル以上のものを記載（以下の表においても同様）。
- 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載。

第2表 指定数量別・類別危険物施設数

平成29年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製 造 所 (A)	貯 蔵 所									取 扱 所						合 計 (A + B + C)		
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所		小 計 (C)	
5倍以下	4	217	136			58	568	5	463	25	1,472	39	8			293	340	1,816	
5倍を超えて10倍以下	6	119	116			18	239		14	32	538	56	2			153	211	755	
10 " 50 "	32	89	258			5	166		30	25	573	136	2	5		127	270	875	
50 " 100 "	12	21	78				33		96	3	231	74				36	110	353	
100 " 150 "	4	25	42				14		15		96	55				16	71	171	
150 " 200 "		9	8	1			3			1	21	65				9	74	95	
200 " 1,000 "	13	9	57	11	2		6		1		73	108				16	124	210	
1,000 " 5,000 "		2	25	4	21						27					3	3	30	
5,000 " 10,000 "			2		2						2					2	2	4	
10,000倍を超えるもの			39		39						39				4	2	6	45	
合 計	71	491	761	16	64	81	1,029	5	619	86	3,072	533	12	5	4	657	1,211	4,354	
単 独	第 1 類		10								10							10	
	第 2 類	1	4								4					3	3	8	
	第 3 類		2								2					5	5	7	
	第 4 類	49	430	757	16	64	81	1,029	5	619	85	3,006	533	12	5	4	627	1,181	4,236
	第 5 類		19	2							21							21	
	第 6 類			2							2							2	
混 在	21	26								1	27					22	22	70	
合 計	71	491	761	16	64	81	1,029	5	619	86	3,072	533	12	5	4	657	1,211	4,354	

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。  
 2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数に記載。



第3表 危険物施設に対する立入検査状況

平成28年 4月 1日から  
平成29年 3月31日まで

危険物施設の別 消防(局)本部名		製 造 所 (A)	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計 (A + B + C)		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所	小 計 (C)
福 井 市	検査施設数	19	74	154	12	159	1	182	13	595	101	7		1	93	202	816
	延回数	29	77	163	17	202	1	199	15	674	122	7		1	115	245	948
大 野 市	検査施設数			2				29		31	13				4	17	48
	延回数			2				29		31	13				4	17	48
勝 山 市	検査施設数	2	3	6	1	24		20	1	55	10				6	16	73
	延回数	2	3	6	1	24		20	1	55	10				6	16	73
永 平 寺 町	検査施設数		5	7		17		17	5	51	4				11	15	66
	延回数		5	7		17		17	5	51	4				11	15	66
嶺北消防組合	検査施設数	26	75	149	8	136	1	122	14	505	70			1	138	209	740
	延回数	26	75	149	8	136	1	122	14	505	70			1	138	209	740
鯖江・丹生消防組合	検査施設数	4	20	41	1	26		44	5	137	14		1		19	34	175
	延回数	4	20	41	1	26		44	5	137	14		1		19	34	175
南越消防組合	検査施設数	7	4	13	1	6		84	1	109	11				22	33	149
	延回数	7	4	28	1	6		84	1	124	19				50	69	200
敦賀美方消防組合	検査施設数	1	13	64	2	63		81	2	225	47				42	89	315
	延回数	1	13	64	2	63		81	2	225	47				42	89	315
若狭消防組合	検査施設数	1	32	26	7	46	3	39	3	156	33				28	61	218
	延回数	1	33	26	8	46	3	40	3	159	33				28	61	221
合 計	検査施設数	60	226	462	32	477	5	618	44	1,864	303	7	1	2	363	676	2,600
	延回数	70	230	486	38	520	5	636	46	1,961	332	7	1	2	413	755	2,786

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載。  
2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載。

第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

平成29年3月31日現在

消防(局)本部名 容量別	福	大	勝	永	嶺	鯖	南	敦	若	合
	井	野	山	平	北	江・	越	賀	狭	計
	市	市	市	町	消	丹	消	美	消	
					防	生	防	方	防	
					組	消	組	消	組	
					合	防	合	防	合	
						組		組		
						合		合		
100kl未満	148	17	30	5	119	54	100	68	45	586
100kl～500kl未満	17		1		16	20	10	25	6	95
500kl～1,000kl未満	5				4			7		16
1,000kl～5,000kl未満					21			8		29
5,000kl～10,000kl未満					2					2
10,000kl～50,000kl未満										0
50,000kl～100,000kl未満					3					3
100,000kl以上	20				10					30
合計	190	17	31	5	175	74	110	108	51	761

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

平成29年3月31日現在

品名別 容量別	第4類										第4類以外の類(B)	合計(A+B)
	原	ナ	ガ	灯	軽	重	第	ア	そ	小		
	油	フ	ソ	油	油	油	4	ル	の	計		
		サ	リ				石	コ	他	(		
			ン				油	ール		)		
							類	類				
100kl未満				81	30	184	22	46	219	582	4	586
100kl～500kl未満				3	16	45	9		22	95		95
500kl～1,000kl未満	3		1		1	8			3	16		16
1,000kl～5,000kl未満			6	3	4	9			7	29		29
5,000kl～10,000kl未満				2						2		2
10,000kl～50,000kl未満										0		0
50,000kl～100,000kl未満						3				3		3
100,000kl以上	30									30		30
合計	33	0	7	89	51	249	31	46	251	757	4	761

第5表 危険物取扱者試験実施状況

区 分 種 別		平成25年度 合 格 率 ( % )	平成26年度 合 格 率 ( % )	平成27年度 合 格 率 ( % )	平成28年度		
					受験者数 (人)	合格者数 (人)	合 格 率 ( % )
甲 種		27.5	35.2	18.4	212	68	32.1
乙 種	第 1 類	68.0	68.1	62.6	302	199	65.9
	第 2 類	68.1	73.2	63.0	204	155	76.0
	第 3 類	66.7	65.0	69.0	226	154	68.1
	第 4 類	33.9	27.2	29.2	3,007	813	27.0
	第 5 類	63.0	70.7	59.6	207	141	68.1
	第 6 類	66.1	67.0	59.6	313	208	66.5
	小 計	45.4	42.3	38.7	4,259	1,670	39.2
丙 種		54.9	60.1	64.9	565	325	57.5
合 計		45.4	44.0	41.1	5,036	2,063	41.0

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

区 分 講習種別		平成25年度 受講者数 (人)	平成26年度 受講者数 (人)	平成27年度 受講者数 (人)	平成28年度	
					受講者数 (人)	講習実施回 数 (回)
給 油 取 扱 所		414	393	481	456	8
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		43	42	41	50	1
そ の 他		1,243	1,211	1,520	1,471	11
合 計		1,700	1,646	2,042	1,977	20

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

## 2. 危険物施設の火災・漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、平成24年が15件と最も多い。  
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、一般取扱所での事故が15件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別 内訳	製 造 所 (A)	貯蔵所							取扱所					そ の 他 (D)	合 計 (A+B+C+D)	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所			一 般 取 扱 所
平成24年	火災								0					2	2		2
	漏えい			2		1		3	6	1				3	4		10
	その他								0	3					3		3
平成25年	火災								0					1	1		1
	漏えい					2		1	3						0		3
	その他							1	1						0		1
平成26年	火災								0					1	1		1
	漏えい			2					2					1	1		3
	その他							2	2						0		2
平成27年	火災	1							0						0		1
	漏えい							2	2	1				1	2		4
	その他			1					1						0		1
平成28年	火災								0					4	4		4
	漏えい							1	1					1	1		2
	その他							2	2					1	1		3
火災計		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	0	9
漏えい計		0	0	4	0	3	0	7	14	2	0	0	0	6	8	0	22
その他計		0	0	1	0	0	0	5	6	3	0	0	0	1	4	0	10
総計		1	0	5	0	3	0	12	20	5	0	0	0	15	20	0	41

注：1 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載。

## 第6章 消防の概要

### 1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は平成29年4月1日現在で1,226名である。

また、消防団員数は平成29年4月1日現在で5,809名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

### 2 消防施設

#### (1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

#### (2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

### 3 民間防火組織

#### (1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

#### (2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」（会長：消防庁長官）が設けられ、今日に至っている。

#### (3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い女性を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導のもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、女性による防火活動は重要な役割を果たしている。

## 4 表 彰

消防職員または消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

## 5 消防の現況

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26	27	28	29
1,188	1,206	1,206	1,226
5,720	5,797	5,781	5,809

第2表 消防機関の現況

区 分		平成28年4月(A)	平成29年4月(B)	増減(B-A)
消防本部・署	消防本部数	9	9	0
	消防署数	19	19	0
	出張所数	28	28	20
	消防職員数	1,206	1,226	0
消防団	消防団数	18	18	0
	分団数	234	234	0
	消防団員数	5,781	5,809	28

第3表 消防の概況

平成29年4月1日現在

区分	消防本部・署所						消防団						消防水利		基地局および固定局	移動局				
	設置別		消防署数	出張所数	(実吏員数)	普通消防ポンプ数	水槽付消防ポンプ数	消防団数	分団数	消防団常備部数	団員数		普通自動車ポンプ数	小型動力ポンプ積載車			いらない積載車	火栓(公設)	防火水槽	
	消防本部のみ設置	消防本部署を併設									計	常勤							非常勤	4以上
消防(局)本部名																				
福井市	○		4	15	365	20	3	1	53		1,000	1	52	41	9,523	820	30	15	163	
大野市		○	1	1	55	4		1	10		475	10	21	1	433	283	26	3	37	
勝山市		○	1		38	2	1	1	12		285	3	10		248	195	14	16	42	
永平寺町		○	1		39	1	2	1	11		271	10	11		177	254	11	3	27	
嶺北消防組合		○	4	1	196	7	4	2	33		731	36	11		1,419	1,247	108	4	93	
鯖江・丹生消防組合		○	1	4	111	5	1	2	38		593	31	10	3	1,643	877	40	5	97	
南越消防組合		○	3	2	145	7	4	3	32		817	12	26	1	2,482	689	34	7	152	
敦賀美方消防組合		○	3	1	152	3	4	3	16		744	24	30	6	1,265	214	168	8	209	
若狭消防組合		○	1	4	125	7	3	4	29		893	9	37	57	1,053	494	56	6	135	
計	1	8	19	28	1,226	56	22	18	234	0	5,809	136	208	109	18,243	5,073	487	67	955	

第4表 階級別消防職員数

平成29年4月1日現在

区分	消防職員											その他の職員				条 例 定 数
	計 (A) + (B) (C)	うち女性 (B) (C)	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計 (B)	事務職員	技術職員	単 純 労 務 職 員	
消防(局)本部名																
福井市	380	4	1	4	27	77	79	53	57	67	365	15	( )	( )	15	356
大野市	57	2	( )	( )	4	8	14	9	7	13	55	2	( )	( )	2	55
勝山市	39	1	( )	1	5	4	10	7	4	7	38	1	( )	( )	1	42
永平寺町	39	0	( )	( )	3	6	12	3	2	13	39	( )	( )	( )	0	45
嶺北消防組合	200	7	1	1	8	36	39	31	40	40	196	4	( )	( )	4	206
鯖江・丹生消防組合	113	5	( )	1	8	23	29	20	13	17	111	2	( )	( )	2	113
南越消防組合	148	5	( )	1	12	30	43	11	25	23	145	3	( )	( )	3	154
敦賀美方消防組合	153	1	( )	1	13	23	26	26	25	38	152	1	( )	( )	1	156
若狭消防組合	126	1	( )	1	7	28	27	8	23	31	125	1	( )	( )	1	130
計	1,255	26	0	10	87	235	279	168	196	249	1,226	29	0	0	29	1,257

注1: 下段の( )は、女性職員の内数

注2: 条例定数に含まれない派遣・出向職員および短時間勤務の再任用職員がいるため、条例定数を超えている場合がある



第5表 階級別非常勤消防団員数

平成29年4月1日現在

階級別 消防(局)本部	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条約定数
福井市	1000 ( 29 )	1 ( )	8 ( )	52 ( )	52 ( )	98 ( )	100 ( 2 )	689 ( 27 )	1,055
大野市	475 ( 98 )	1 ( )	2 ( )	10 ( 1 )	12 ( 2 )	36 ( 3 )	72 ( 6 )	342 ( 86 )	485
勝山市	285 ( 24 )	1 ( )	2 ( )	12 ( )	12 ( )	25 ( 1 )	34 ( 2 )	199 ( 21 )	299
永平寺町	271 ( 10 )	1 ( )	2 ( )	13 ( 1 )	11 ( 1 )	( )	33 ( 1 )	211 ( 7 )	315
嶺北消防組合	731 ( 16 )	2 ( )	8 ( )	33 ( )	52 ( )	2 ( 2 )	64 ( 2 )	570 ( 12 )	773
鯖江・丹生消防組合	593 ( 41 )	2 ( )	5 ( )	37 ( )	34 ( )	( )	85 ( 2 )	430 ( 39 )	647
南越消防組合	817 ( 51 )	3 ( )	9 ( )	32 ( 2 )	32 ( 2 )	( )	84 ( 5 )	657 ( 42 )	826
敦賀美方消防組合	744 ( 26 )	3 ( )	4 ( )	17 ( )	18 ( )	51 ( )	85 ( )	566 ( 26 )	761
若狭消防組合	893 ( 7 )	4 ( )	6 ( )	29 ( )	21 ( )	71 ( 1 )	84 ( )	678 ( 6 )	894
計	5,809 ( 302 )	18 ( 0 )	46 ( 0 )	235 ( 4 )	244 ( 5 )	283 ( 7 )	641 ( 20 )	4,342 ( 266 )	6,055

注：下段の( )は、女性団員の内数

第6表 年齢別消防吏員・消防団員数

平成29年4月1日現在

年齢別 消防(局)本部分	消 防 団 員										消 防 吏 員											
	(C)のうち										団員数 (C)	(A)のうち										平均年齢 (B) (A)
	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 〜 59歳	60歳 〜 64歳		65歳 以上	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 以上	
福井市	1	13	32	68	118	187	171	152	150	83	25	1,000	14,925	71	45	33	24	58	38	46	71	40.9
大野市	0	7	29	44	62	84	79	69	58	34	9	475	2,125	5	10	3	6	10	5	8	5	38.6
勝山市	0	2	12	26	40	57	37	41	52	17	1	285	1,538	5	5	4	9	6	3	3	5	40.5
永平寺町	3	24	14	24	54	54	46	27	16	9	3	271	1,440	3	6	2	9	4	2	14	3	36.9
嶺北消防組合	0	9	27	61	119	153	156	100	63	28	15	731	7,198	11	30	25	15	42	25	14	11	36.7
鯖江・丹生消防組合	1	28	39	100	137	139	93	32	18	2	4	593	4,237	11	15	13	17	23	11	7	11	38.2
南越消防組合	0	12	34	63	113	165	156	126	81	46	21	817	5,605	16	22	10	11	30	17	15	16	38.7
敦賀美方消防組合	1	16	77	158	185	113	68	45	49	23	9	744	5,206	8	27	30	24	25	4	4	8	34.3
若狭消防組合	3	39	96	182	261	184	94	27	7	0	0	893	4,530	13	22	15	15	17	8	10	13	36.2
計	9	150	360	726	1,089	1,136	900	619	494	242	84	5,809	46,804	143	182	135	122	223	121	109	143	38.2

注:18歳〜19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

平成29年4月1日現在

年数別 消防(局)本部名	消 防 吏 員						消 防 団 員									
	消			防			常 勤			非 常 勤						
	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上	合 計	5 年 未 満	5 10 年 未 満	10 15 年 未 満	15 20 年 未 満	20 25 年 未 満	25 30 年 未 満	30 年 以 上
福 井 市	365	81	47	21	32	45	41	98	1,000	247	235	145	127	98	81	67
大 野 市	55	10	9	4	3	10	7	12	475	155	90	58	50	53	32	37
勝 山 市	38	5	4	3	5	10	5	6	285	47	60	51	48	35	33	11
永 平 寺 町	39	11	4	1	5	8	5	5	271	101	74	35	27	25	7	2
嶺 北 消 防 組 合	196	39	40	15	18	37	19	28	731	165	157	121	120	79	53	36
鯖 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	111	16	21	9	14	21	11	19	593	186	159	105	85	42	10	6
南 越 消 防 組 合	145	32	19	7	17	26	17	27	817	221	141	138	104	90	85	38
敦 賀 美 方 消 防 組 合	152	36	35	19	10	31	9	12	744	247	241	136	46	29	28	17
若 狭 消 防 組 合	125	28	24	11	12	11	13	26	893	322	263	157	89	44	17	1
計	1,226	258	203	90	116	199	127	233	5,809	1,691	1,420	946	696	495	346	215

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部・署)

平成29年4月1日現在

区分	消防本部・署 現有													その他車両												
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でないものを含む)	18m級	24m級	30m級	38m級	消防ポンプ自動車	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車		積載車	小型動力ポンプ	広報車	資機材搬送車	屈折放水塔車	水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車	
消防(局)本部名																										
福井市消防局	20	3	2	1	1	1	1	1	1	1	4	5		7	6	4			1	1	1		11 (11)	2	6	
大野市消防本部	4		1		1						1	1			1	2		1			1		4 (4)	1		
勝山市消防本部	2	1	1		1						1	1			1	1							3 (3)	1		
永平寺町消防本部	1	2										1		2	1	1							3 (3)	1		
嶺北消防組合	7	4				2			1	1	4	5		7	1	5			1	1			8 (8)	3	5	
鯖江・丹生消防組合	5	1					1				2	2			6	1		1					6 (6)	1		
南越消防組合	7	4	1			1					2	3		1	7	5		1	1	1	1		8 (7)	3		
敦賀美方消防組合	3	4	1				1				2	1		6	1	5		1	1				6 (6)	2	8	
若狭消防組合	7	3				1					1	1		6	6	2					1		7 (7)	1		
計	56	22	4	2	4	3	1	2	17	20	0	29	30	26	0	4	4	4	4	4	4	2	56 (55)	15	19	

注:救急自動車の( )書きは高規格救急自動車で内数。

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

平成29年4月1日現在

種別 消防(局)本部名	消防団現有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	車両に積載していないもの
福井市	1		52	41
大野市	10		21	1
勝山市	3		10	
永平寺町	10		11	
嶺北消防組合	36		11	
鯖江・丹生消防組合	31		10	3
南越消防組合	12		26	1
敦賀美方消防組合	24		30	6
若狭消防組合	9		37	57
計	136	0	208	109

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

平成29年4月1日現在

種別	計		化学消火剤種別											
	(A)	(B)	たんぱく系		合成界面活性剤	水成膜泡消火薬剤	水溶性液体用泡消火薬剤 (耐アルコール用)	粉末(kg)						
	(kg) (ア)～(オ)	(kg) (カ)～(ケ)	3%型 (kg) (ア)	6%型 (kg) (イ)	(kg) (ウ)	(kg) (エ)	(kg) (オ)	第1種 粉末 (カ)	第2種 粉末 (キ)	第3種 粉末 (ク)	第4種 粉末 (ケ)			
消防(局)本部名														
福井市	14.85	0.00	10.40	0.09	1.63	2.39	0.34							
大野市	1.96	0.00			1.96									
勝山市	1.00	0.00			1.00									
永平寺町	0.50	0.00			0.50									
嶺北消防組合	31.21	0.00	4.98		4.43	18.20	3.60							
鯖江・丹生消防組合	4.18	0.00			2.38	1.80								
南越消防組合	3.34	0.00			0.72	2.62								
敦賀美方消防組合	4.71	0.00	0.87		3.06	0.50	0.28							
若狭消防組合	1.34	0.00			1.34									
計	63.09	0.00	16.25	0.09	17.02	25.51	4.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

第11表 消防水利の状況

平成29年4月1日現在

種別	消火栓		小計(C)(D)+(E)				公設(D)				私設(E)				その他													
	小計	公設	私設	100 m <sup>3</sup> 以上	60 ~ 100	40 ~ 60	20 ~ 40	井戸	100 m <sup>3</sup> 以上	60 ~ 100	40 ~ 60	20 ~ 40	井戸	100 m <sup>3</sup> 以上	60 ~ 100	40 ~ 60	20 ~ 40	井戸	小計	河川・溝等	海	湖	プール	壕	下水道	その他		
(A) +	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)	(AB)	
消防(局)本部名																												
福井市	10,373	9,523	9,523	31	8	781	30	井戸	31	8	781	30	井戸						328	128							122	
大野市	768	433	433	3	3	277	26	井戸	3	3	277	26	井戸						8									
勝山市	457	248	248	3	1	191	14	井戸	3	1	191	14	井戸						0									
永平寺町	442	177	177	1	19	234	11	井戸	1	19	234	11	井戸						14	3				11				
嶺北消防組合	2,774	1,419	1,419	70	64	1,113	108	井戸	11	49	934	83	井戸						59	12	6			41				
鯖江・丹生消防組合	2,560	1,643	1,643	17	11	849	40	井戸	15	10	834	40	井戸						2	1	15			26			6	
南越消防組合	3,303	2,580	2,482	7	18	664	34	井戸	6	18	649	33	井戸						1	15	15			26	18		1	
敦賀美方消防組合	1,700	1,265	1,265	5	9	200	168	井戸	5	4	183	160	井戸						5	17	8							
若狭消防組合	1,603	1,053	1,053	1	5	488	56	井戸	1	2	481	54	井戸							3	7	2		33				
計	23,980	18,341	18,243	138	138	4,797	487	79	73	112	4,497	441	79	65	26	300	46	0	581	204	7		223	18	0	129		

第12表 消防機関の出動状況

平成28年中

区分	種別	火災		風水害等の災害(イ)	演習訓練(ウ)	広報指導(エ)	警防調査(オ)	火災原因調査(カ)	特別警戒(キ)	捜索(ク)	予防査察(ケ)	誤報等(コ)	その他(カ)
		火災(ア)	火災(イ)										
消防本部・署所	出動回数	24,987	213	31	3,501	4,009	6,066	238	1,488	29	8,408	60	944
	出動延人数	79,363	2,891	156	18,176	12,475	15,815	1,408	4,057	263	20,584	612	2,926
消防団	出動回数	3,103	143	4	827	303	31	0	402	0	1	16	1,376
	出動延人数	42,543	2,165	34	20,217	2,712	417	0	6,061	0	3	137	10,797

第13表 消防吏員・団員の公務による死傷者数

平成28年中

区分	種別	火災		救急業務(イ)	風水害等の災害(ウ)	演習訓練(エ)	特別警戒(オ)	捜索(カ)	その他(キ)
		火災(ア)	火災(イ)						
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	10	2	0	0	8	0	0	0
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0
	負傷者	4	0	0	0	4	0	0	0



第14表 火災通報施設等の現況

平成29年4月1日現在

区分	火災報知機			テレビ 監視装置 (基)	望楼		電話					救急指令装置		
	受信機 (基)	発信機			小計 (ウ)+(エ) (基)	24時間 監視を している もの (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	小計 (カ)+(キ)+(ク) (回線)	消防機関にあるもの		加入電話 (キ) (回線)	救急 指令 専用	消防 指令 装置と 併用	
		小計 (ア)+(イ) (基)	公衆用 (ア) (基)						自衛用 (イ) (基)	火災報知 専用電話 (カ) (回線)				消防電話 1ヶ月あた りの経費 (キ) (千円)
消防(局)本部名														
福井市	0				0		165	26	99	160	40		1	
大野市	0			1	0		40	13	2	5	25			
勝山市	0				0		13	6			7			
永平寺町	0				0		20	15			5		1	
嶺北消防組合	0				0		47	14			33			
鯖江・丹生消防組合	0				0		55	13	5	229	37		1	
南越消防組合	0				0		46	12	2	6	32			
敦賀美方消防組合	0				0		43	11	9	248	23			
若狭消防組合	0			1	0		40	8	8		24			
計	0	0	0	2	0	0	469	118	125	648	226	0	3	

第15表 無線通信施設の現況

平成29年4月1日現在

種別	消防・救急業務用無線（アナログ方式）										消防・救急業務用無線（デジタル方式）										
	固定局			基地局および携帯基地局				移動局			固定局			基地局および携帯基地局				移動局			
	局数	多重	その他	局	基地局	携帯基地局	電波の数		陸上移動局数	携帯局数	その他無線局数	局数	基地局	携帯基地局	統制波	主運用波	活動波	防災相互波	陸上移動局数	携帯局数	その他無線局数
							その電波の数の	他の電波の数の													
多重	その他	その電波の数の	基地局	携帯基地局	全国共通波	県内共通波	その他	陸上移動局数	携帯局数	その他無線局数	局数	基地局	携帯基地局	統制波	主運用波	活動波	防災相互波	陸上移動局数	携帯局数	その他無線局数	
消防(局)本部名																					
福井市								24				9		3	1	5			72	67	
大野市											3		3	1	2			37			
勝山市											13	3		3	1	2		42			
永平寺町												3		3	1	2		12	15		
嶺北消防組合												4		3	1	3		87			
鯖江・丹生消防組合												5		3	1	2		97			
南越消防組合												7		3	1	3		152			
敦賀美方消防組合												8		3	1	2		137			
若狭消防組合												6		3	1	2	1	135			
計	0	0	0	0	0	0	0	102	0	0	0	48	0	27	9	23	1	771	82	0	0

第16表 幼年消防クラブの現況

平成29年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数					
	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市町村 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市町村 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	その他
消防(局)本部名																
福井市	2	2					48	48					2	2		
大野市	17	17					1,099	1,099					15	15		
勝山市	13	13					489	489					168	168		
永平寺町	10	10					622	622					56	56		
嶺北消防組合	47	47					4,567	4,567					47	47		
鯖江・丹生消防組合	38	38					1,661	1,661					105	105		
南越消防組合	33	33					678	678					33	33		
敦賀美方消防組合	35	35					2,850	2,850					35	35		
若狭消防組合	1	1					32	32					3	3		
計	196	196	0	0	0	0	12,046	12,046	0	0	0	0	464	464	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

平成29年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数						
	計	学校単位		市町村単位	地区単位	その他	計	学校単位		市町村単位	地区単位	その他	計	学校単位		その他	
		小学校	中学校					小学校	中学校					小学校	中学校		
消防(局)本部名																	
福井市	50	50					2,524	2,524					79	79			
大野市	15	10	5			340	431	91					14	10	4		
勝山市	17	3		4	10	381	1,136				89	666	52	6			46
永平寺町	13				13		206					206	30				30
嶺北消防組合	26	26				1,082	1,082						26	26			
鯖江・丹生消防組合	20	20				2,640	2,640						120	120			
南越消防組合	21	21				758	758						21	21			
敦賀美方消防組合	12	12				284	284						12	12			
若狭消防組合	0						0						0				
計	174	142	5	4	23	9,061	9,061	91	0	89	872	354	274	4			76

第18表 女性防火クラブの現況および活動状況

平成29年4月1日現在

種別	合計		周囲の状況						活動状況別組織数			
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	市街地		農山村地域		漁村地域		消火活動を行う	消火活動は行わないが、吹き出し、連絡、救護等を行う	(a)(b)は行わず、予防の啓蒙活動を行っている	
			組織数 (ア)	人員 (カ)	組織数 (イ)	人員 (キ)	組織数 (ウ)	人員 (ク)				組織数 (エ)
消防(局)本部名												
福井市	40	1,759	15	497	22	796	3	466	9			31
大野市	4	116			4	116			3			1
勝山市	9	270	3	150	6	120			9			
永平寺町	1	21	1	21								1
嶺北消防組合	2	612	2	612								2
鯖江・丹生消防組合	22	1,318	7	136	12	500	3	682	12			10
南越消防組合	23	247	13	122	10	125				23		
敦賀美方消防組合	9	1,570	2	1,482	4	63	3	25	7		2	
若狭消防組合	16	208			8	152	8	56	16			
計	126	6,121	43	3,020	66	1,872	17	1,229	56	0	25	45

第19表 消防表彰受賞状況

種 類		年 度										
		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
叙 勲		21	23	24	23	22	21	22	23	21	31	
藍 綬 褒 章		4		1				3	3	2		
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	2	2	1	2	1	2	2	2	1	1	
	永年勤続功労章	20	20	20	21	21	21	21	21	22	22	
	表 彰 旗											
	竿 頭 綬							1	1	1		
	消防団 地域 活動	消 防 団			1	1	1	1	1	1	1	1
		事 業 所	1		1	1	1				1	
	少 年 消 防 ク ラ ブ	表 彰 旗				1			1			
		表 彰 楯	1	2	1		1	1		1	1	1
		指 導 者										
	福 井 県 知 事 表 彰	功 勞 章	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
永年勤続精績章		117	154	141	142	155	152	154	177	132	168	
銀 杯		30 年 以 上										
		退職10～15年未満	58	66	75	66	70	67	71	73	49	55
感 謝 状		退 職 幹 部	23	23	24	24	22	22	33	16	49	23
		人 命 救 助 そ の 他										
		夫 人 表 彰	29	26	22	36	33	28	26	33	33	31
竿 頭 綬								35	46	46	47	
特 別 功 勞 章												

## 第 7 章 消防教育訓練

### 1 消防学校の概要

#### (1) 沿革

昭和34年 7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置。  
 昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転。  
 平成8年4月1日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

#### (2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所在地 福井市大畑町97-21-3  
 (イ) 敷地面積 40,759.02㎡

イ 建物工作物等

建物構造および規模

・ 敷地面積…………… 40,759.02㎡      ・ 建物延面積…………… 8,001.62㎡

名 称	規模・構造	延べ面積(㎡)	内 容
教育管理棟 宿泊施設(3階)	R C 造 3 階	3,249㎡	1階 校長室 講師控室 職員室 会議室 防災倉庫 2階 普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等 3階 寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体 育 館	鉄骨造 2階 建	2,106.25㎡	1階 食堂 学生ホール 和室 倉庫 2階 アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22㎡	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫
訓練塔(主)	S R C 造 地下1階建 地上8階建	594.84㎡	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室
訓練塔(補助)	鉄骨造 地上7m	A塔 70.44㎡ B塔 32.86㎡	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	F R P 製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m³ 採水口4箇所(ポンプ車用) 機械室・便所(34.43㎡)	
その他施設			油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20㎡ 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m
屋外訓練場		7,800㎡ (120m×65m)	1周200mグラウンド

### 2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。

また、第3表のとおり消防大学校へ職員が派遣された。

平成28年度 消防(局)本部別受講者数

区分	教育訓練の種類	項目	実施年月日	教育 実日数	延時間	消 防 ( 局 )						本 部			名 合計
						福井	敦賀美方	南越	若狭	大野	勝山	鯖江丹生	嶺北	永平寺	
消 防 職 員	初任教育(第51期)	初級幹部科	28. 4. 4~9. 28	120	835	15	4	6	3	3	4	9	2	46	
			隔年実施のため中止												
	幹部教育	中級幹部科 (第30期)	28. 12. 8~12. 16	7	49	4	2	3	2	1	1	2	3	1	19
			28. 6. 22~6. 24	3	21	4	2	1	2	1	1	1	2	2	14
	専 科 教 育	上級幹部科 (第36期)	28. 11. 9~11. 22	3	70	4	2	3	2	1	1	2	4	1	20
			隔年実施のため中止												
	職 教 育	特殊災害科	予防査察科 (第13期)	10	70	4	2	3	2	1	1	2	2	1	18
			危険物科 (第33期)	7	49	4	2	3	2	1	1	2	3	1	19
			火災調査科												
			救助科 (第40期)	23	161	4	2	3	2	2	1	2	4	1	21
	特 別 教 育	救急科 (第24期)	29. 1. 25~3. 15	36	252	7	6	5	4	2	1	3	8	2	40
			水難救助科 (第21期)	12	84	5	2	1	1			1	3	1	14
特別講座等 (下記公開講座に記載)															
操法指導員教育			2	16	5	4	4	4	4	2	4	4	2	33	
消 防 団 員	起震車操作員教育(新規養成)	28. 5. 18	1	3	9	4	3	2	1	1	11	4	2	37	
		小 計	224	1,610	65	32	35	26	17	10	34	46	14	2	281
一 般 ・ そ の 他	初級幹部科	指揮幹部科	28. 11. 12~11. 13	2	12	11	7	3	7	7	2	6	4	3	50
			現場指揮課程	2	14	4	5	3	4	2	1	3	3	2	2
	消 防 団 員	分団指揮課程	28. 12. 10~12. 11	2	10	5	6	3	5	6	2	4	3	3	37
			消防団員指導員教育(日消)	2	12	1	3	3	4	1	1	2	2	1	1
	一 般 ・ そ の 他	小 計	28. 11. 5~11. 6	8	48	21	21	12	20	16	6	15	12	9	132
			自衛消防隊幹部教育	1	7	4	13	12	2	4	2	1	7	2	47
		女性防火クラブ員教育 (第1回)	1	6	13	8	1	5	4	2	2	7	4	46	
		自主防災組織員教育 (第1回)	1	3			2		25	2	18	6	2	55	
		自主防災組織員教育 (第2回)嶺南	1	3			15							15	
		自主防災組織員教育 (第3回)	1	3	26					4	1	10	2	43	
		市町新規採用職員研修	2	9										<229>	
		小 計	7	31	43	21	15	22	33	10	22	30	10	206	
公 開 講 座	中級幹部科	警防科	28. 11. 26~11. 27	239	1,689	129	74	62	68	66	26	71	88	33	619
			28. 12. 12	1	4	12	4	3	2	2	4	4	4	3	38
			28. 11. 16	1	4	12	5	7	3	1	5	12	4	4	53
			29. 2. 16	1	4	8	5	5	4	1	2	4	5	2	36
			29. 2. 20	1	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	18
公 開 講 座 合 計	4	16	34	16	17	11	11	6	13	22	15	11	145		
総 計	243	1,705	163	90	79	79	72	39	93	103	44	2	764		



第2表 平成28年度消防学校教育訓練実施状況

区分	項目	入校者数	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数				
					学校	県	消防	専門	
消防職員	初任教育(第51期)	46	120	835	537	31	210	57	
	幹部教育	初級幹部科							
		中級幹部科(第30期)	19	7	49	9	6	25	9
		上級幹部科(第10期)	14	3	21	2	5	10	4
	専科教育	警防科(第36期)	20	3	70	26	12	21	11
		特殊災害科							
		予防査察科(第12期)	18	10	70	9	4	53	4
		危険物科(第33期)	19	7	49	9	8	25	7
		火災調査科							
		救助科(第40期)	21	23	161	23	8	109	21
	特別教育	救急科(第24期)	40	36	252	7	7	65	173
		水難救助科(第21期)	14	12	84	8		76	
		操法指導員教育	33	2	16	2		14	
	起震車操作員教育	37	1	3	3				
	小計	281	224	1,610	635	81	608	286	
消防団員	初級幹部科	50	2	12	12				
	指揮幹部科								
		現場指揮課程	27	2	14	1		13	
		分団指揮課程	37	2	10	6	2	2	
		消防団指導員教育(日消)	18	2	12	10	2		
	小計	132	8	48	29	4	13	2	
一般・その他	自衛消防隊幹部教育	47	1	7	6	1			
	女性防火クラブ員教育	46	1	6	6				
	自主防災組織員教育	113	3	9	6	3			
	(市町新規採用職員研修)	(229)	2	9	6	3			
	小計	206	7	31	24	7	0	0	
	合計	619	239	1,689	688	92	621	288	
公開講座	中級幹部科	38	1	4				4	
	警防科	53	1	4				4	
	予防査察科	36	1	4				4	
	救急科	18	1	4				4	
	公開講座合計	145	4	16	0	0	0	16	
	総合計	764	243	1,705	688	92	621	304	

第3表 平成28年度消防大学校派遣者数

学 科	派遣者数	備 考	
幹部科	(第45期)	福井市(2)、永平寺、鯖江・丹生、消防学校	
	(第46期)		
	(第47期)		
	(第48期)		
上級幹部科(第80期)	1	消防学校	
新任消防長・学校長科(第20期)	1	消防学校	
警防科(第100期)	1	南越	
救助科	(第73期)	1	若狭
	(第74期)	1	敦賀美方
予防科(第100期)	1	鯖江・丹生	
危険物科(第11期)	1	嶺北	
火災調査科(第32期)	1	嶺北	
新任教官科(第10期)	1	消防学校	
高度・特別高度救助コース(第6回)	1	敦賀美方	
航空隊長コース(第16回)	1	防災航空事務所	
危機管理・国民保護コース(第6回)	3	福井市、永平寺町、嶺北	
自主防災組織育成コース(第12回)	2	嶺北、消防学校	
女性消防吏員活躍推進講習会(第1回)	1	鯖江・丹生	
合計	22		